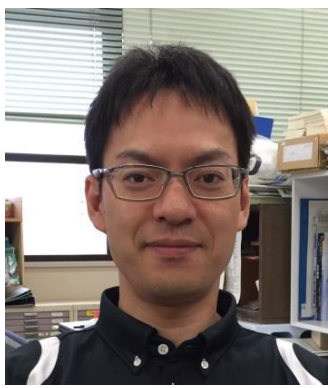


ふりがな 氏名	くぼた つとむ <b>窪田 勉</b>	都道府県	<b>兵庫県</b>	
所属/肩書	<b>兵庫県立兵庫高等学校 教諭</b>			
私のESD活動	<b>「“輝ける未来創造都市”神戸の実現に向けて、高校生の力を発揮しよう！」</b>			
ESD活動を表すキーワード	<b>まちづくり</b>	<b>中等教育</b>	<b>個人の尊重</b>	

**活動の概要（特に、取り組みの独創性、革新性、成果について説明してください）**

私は勤務校の兵庫県立兵庫高等学校において、学校設定教科「創造」で課題研究と実践活動を指導してきました。「創造」の授業で生徒は、世代や文化的背景の異なる人との交流を通じて、「正解のない問題」に対して多角的な視点から学習に取り組んでいます。この「創造」の授業は座学と研究活動の2つを展開しています。

座学は地方自治、多文化共生、少子高齢化、模擬選挙、財政問題、国際問題等をテーマに取り上げ、講義を行っています。テーマに合わせて行政機関やNPO等から外部講師を招き参加型講義を行うこともあります。地域でのフィールドワークや実践活動を視野に入れて、授業の展開やテーマの設定を工夫しています。

研究活動は次のように進めていきます。グループで神戸市の現状から課題設定をし、テーマに沿った行政機関、商店街振興組合、NPO等にフィールドワークを実施します。地域課題研究のおもなテーマは、防災、多文化共生、商店街活性化、空き家再生などです。その後、フィールドワークを重ねたり、ボランティアに参加したりして研究を深めます。2度クラス内での発表会を経て、課題解決の具体的な提案を実施可能な団体に提示し、後期の実践活動に移ります。

「創造」の授業の成果として、班員や関係者と連携し意見の調整をしながら同じ目標に向けて取り組むなかでコミュニケーション力の高まりがみられます。また、地域の諸課題の「当事者」となることで社会参画意欲が高まったといえます。さらに、失敗を繰り返しながら工夫して克服する経験を重ねることで、学習面においても学ぶ目的意識が高まり、進路や生き方に対して明確な目標をもつようになったことが成果としてあげられます。

・兵庫高校未来創造コース1期生の活動記録 <https://www2.hyogo-c.ed.jp/weblog2/hyogo-hs/?cat=8>

・兵庫高校未来創造コース2期生の活動記録 <https://www2.hyogo-c.ed.jp/weblog2/hyogo-hs/?cat=14>

**ESD活動をさらに深めるために、今後どのような活動を展開していこうと考えていますか？**

現在の勤務校での研究活動・実践活動の取り組みはある程度充実したものとなっていると考えますが、その活動を基礎付ける座学の学習がまだ不十分であると考えます。したがって、生徒は研究活動や実践活動でいったい何を指しているのか、それは単に地域活性化や地域の課題解決で住民が喜ぶというのではなく、自分も社会の一員、あるいは「当事者」として持続可能な社会を実現しようとしていることを明示できるような授業を展開したいと思いません。授業では、さまざまな立場の意見があり、時には衝突があり、妥協があり、先送りがありなど多様性を受け入れながら個人を尊重できる社会づくりが時間はかかるが大切だと伝えたいです。